

1972年  
ローマクラブの報告書  
「成長の限界」

- 核戦力のエスカレーション
- 人口増大
- 広がる環境汚染
- 都市化の進行
- 青少年の海外移住
- 伝統的な価値の崩壊
- 天然資源の枯渇
- 拡大する社会不安
- インフレの蔓延

2001年  
MDGs



2009年  
Planetary Boundary

- Climate change (気候変動)
- Rate of biodiversity loss (生物多様性の損失)
- Biogeochemical flow boundary (Nitrogen cycle (窒素循環), Phosphorus cycle (リン循環))
- Global freshwater use (グローバルな淡水の利用)
- Change in land use (土地利用の変化)
- Atmospheric aerosol loading (大気エアロソルの負荷)
- Chemical pollution (化学汚染)
- Ocean acidification (海洋酸性化)
- Stratospheric ozone depletion (オゾンホール)



2015年  
SDGs



2016年  
Society 5.0  
(第5期科学技術基本計画)



2018年  
Six Transformations

出典: IASA (The World in 2050) (2020)

## 科学技術イノベーション2050 委員会の取り組み

スマートな都市、  
快適で強靱な人間居住の実現

マルチAIネットワーク都市

持続可能で格差のない  
水・食料・エネルギーアクセスの実現

カーボンニュートラル

可視化されたエビデンスと  
多様な価値観の許容に基づく  
ガバナンスの実現

社会の人々との共創

持続可能性と  
Well-being

Efficiencyだけでなく  
Sufficiencyも高める社会へ

2050年  
STIIによる  
誰も取り残さない  
共創社会

# The Road to 2050

2050年あるいは2100年の望むべき将来像を定め、その実現に向けて必要な社会の構造的転換を促すために鍵となる技術やニッチ技術を特定すると共に、そうした技術が支える社会イノベーションのロードマップを描き、22世紀に向けて持続可能な社会を実現するためのアクションプランを、3つの課題に対して提言する

2021年12月17日(金)14時-18時：ハイブリッド形式  
東大本郷キャンパス工学部1号館15号教室(40名まで)

### ■ ご挨拶

沖 大幹(東京大学)

### ■ 基調講演 (14:10~15:00)

中村 道治(科学技術振興機構)

「STI for SDGs」

有本 建男(政策研究大学院大学)

「科学的助言の再設計」

### ■ 分科会講演 (15:05~16:35)

杉山 郁夫(日建設計シビル、E2E)

「マルチAIネットワーク都市の実現」

安永 裕幸(国際連合工業開発機関)

「世界のカーボンニュートラルの実現」

大竹 暁(東京大学)

「社会の人々との共創の実現」

### ■ パネル討議 (16:40~17:30)

(ファシリテーター：沖大幹、全登壇者)

「2050年に向けたアクションプラン」



沖 大幹(委員長)



中村 道治



有本 建男



杉山 郁夫



安永 裕幸



大竹 暁

お申し込みはこちら

<https://forms.gle/j2Twk8aszQLDBxLg6>



お問い合わせ

有川(幹事): taro.arikawa.38d@g.chuo-u.ac.jp